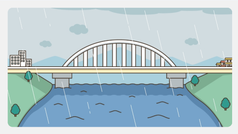
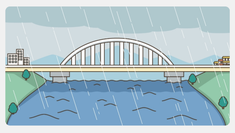
あなたの住んでいる場所はハザードマップ上、
水害発生時に大きな被害が発生する危険性があります。
命や財産を守るために早めの情報収集や避難行動を心掛けましょう。

在住
わたしの「そんぽデジタル・マイ・タイムライン」

みんなが考えた「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまでの備えが『マイ・タイムライン』だよ！

作成年月：年月

備えまでのおおよその時間	行政等から発信される情報	「台風や前線が発生」してから「川の水が氾濫」するまで	主な備え	備えの（例）
5~3日前	○台風予報 ○台風に関する都道府県の気象情報(随時)	台風が発生  天気予報で台風ができたって言ってるよ。まだ雨や風は強くないね。	「川の水が氾濫するまでの主な備え」で考えた順番に並んでいるよ。 オリジナルの行動も書き足そう！	買い物は、雨風が強くなる前にすませておこう。 ■今後の台風や前線の動きを調べ始める ■１週間分の薬を病院に受け取りに行く ■テレビ、インターネット、携帯メール等で雨や川の様子に注意 ■家を守る準備をする ■排水溝や雨どいの清掃をしておく ■飛ばされそうなものは固定したり、家の中に入れておく ■避難する時に持って行くものを準備する ■家族と連絡を取りあう
2日前 1日前	○台風に関する今後の見通し ○雨に関する防災気象情報等(随時)	台風が近づいて、雨や風がだんだん強くなる  雨や風が強くなると、お出かけは大変だね。		
半日前	水防団待機 水位到達 警戒レベル2 氾濫注意水位到達 レベル2氾濫注意報※1またはレベル2氾濫注意情報※2発表 ◇暴風警報 水位観測所名	雨が集まって、川の水がだんだん増える  自分がいるところで降ってなくても、上流で雨が降れば川の水は増えてくるよ。 激しい雨で、川の水がどんどん増えて、河川敷にも水が流れる  このまま増えると、川の水があふれるかも。		■住んでいるところと上流の雨量を調べ始める ■携帯電話の充電 ■ハザードマップで避難場所、避難手段を再確認 ■川の水位を調べ始める ■通行止め情報がないか、インターネットで確認 移動に時間がかかるおじいちゃん、おばあちゃんや小さな子がいる家は早めに避難しよう。 ■避難しやすい服装に着替がえる
5時間前	※ハザードマップ等で確認▼ 警戒レベル3 相当 避難判断水位到達 0m レベル3氾濫警報※1またはレベル3氾濫警戒情報※2発表 ◇高齢者等避難を発令	川の水がいっぱいであふれそう  もうぎりぎり。川の水があふれる前に、安全なところへ逃げなきゃ！		■携帯メール等で高齢者等避難を受信
3時間前	※ハザードマップ等で確認▼ 警戒レベル4 相当 氾濫危険水位到達 0m レベル4氾濫危険警報※1またはレベル4氾濫危険情報※2発表 ○緊急速報メール 河川氾濫のおそれがある情報 ◇避難指示を発令 避難所			■携帯メール等で避難指示を受信 ■安全なところへ移動を始める 安全な避難場所ってどんなとこ？ ・近くの避難所？ ・となり町の避難所？ ・親戚の家？　・・・ 考えてみよう！
0時間	警戒レベル5 相当 氾濫が発生・切迫 レベル5氾濫特別警報※1またはレベル5氾濫発生情報※3発表 ○緊急速報メール 氾濫が発生した情報	川の水が氾濫  川の水が一気に広がって、街中が水びたし。こうなると動けないぞ！		命を守ろう！

雨風が強くなる前に行うべき事項をすませておく時期

水位等の状況を把握しつつ避難に要する時間に応じて避難行動を開始する時期

身の安全を確保すべき時期

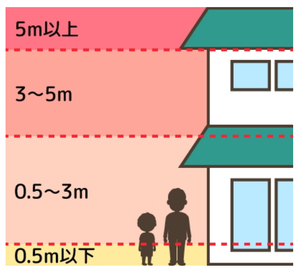
気象庁などから防災気象情報が随時発表されます。
避難指示等のタイミングは市区町村によって異なります。市区町村のタイムラインを確認して下さい。

※１ 洪水予報河川において発表される。　※２ 水位周知河川において発表される。　※３ 水防計画に定められた河川は、レベル５氾濫発生情報が発表される。

チェックシート入力情報

重ねるハザードマップでチェック

● お住まいの住所



● あなたの住んでいる場所の浸水深

0.0～0.5m

● あなたの住んでいる場所の浸水継続時間

12時間未満時間

● あなたの住んでいる場所は

家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫流・河岸侵食）です

● あなたの住んでいる場所は

土砂災害警戒区域等に該当します

避難先のチェック

● 洪水ハザードマップに記載されている避難所

無し

移動手段

無し

合計移動時間

無し

● 親戚・知人の家

無し

移動手段

無し

合計移動時間

無し

● その他（近くの浸水しない場所）

無し

移動手段

無し

合計移動時間

無し

あなたが避難する場所までのルートを考えておきましょう！

家庭の状況チェック

● 車

無し

● ペット

有り

● 持病薬

有り：

● 避難に支援が必要な人（高齢者、障がい者、乳幼児、妊婦など）

有り：

● 自分の家の種別

一戸建て

想定されるリスク

＜床下浸水＞
- 汚泥の堆積、床下内のカビや雑菌の発生・悪臭
- バス・トイレ・キッチン等などの排水からの逆流
- 地下駐車場ある場合は、浸水のリスク大（車が水損）
- 地下あるいは1階に電気設備がある場合は建物全体が停電する可能性あり（停電により水道（トイレも）が全戸で停止、エレベーターが停止するため高層階は孤立）

＜床上浸水＞
- 家屋の破損・流出
- バス・トイレ・キッチン等などの浸水
- 畳・絨毯・フローリングの汚損
- 断熱材が吸水、壁のボード・クロスが剥離
- 家財の汚損や変形、冷蔵庫など電気製品の浸水
- ベランダからの浸水、屋根瓦の飛散、屋根や破損した窓から室内に雨水の浸入
- エアコン室外機の汚損や故障 等

必要な対応

- 浸水を防止または軽減するために玄関や地面と接する窓に止水版や土のうを設置する
- 地下や地上に駐車している車は一時的に高い場所に移動する
- 排水をよくするために側溝や雨どい、ベランダ排水溝の清掃をしておく
- 屋外のエアコン室外機などは防水シートなどで囲んでおく
- とばされそうなものは固定したり、家の中に入れておく 等